NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2026 年第 46 週（11 月 9 日～11 月 15 日）

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター（名古屋市衛生研究所疫学情報部）

2026 年（令和 8 年）11 月 18 日作成

https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/index.html

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

インフルエンザの定点当たり患者報告数は 9.42 と前週比 1.1 倍でした。

◆１類～5 類全数把握の発生状況

〔１類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2026 年 第 46 週	２類	結核	6	女性、29 歳、結核性リンパ節炎、腸結核 女性、34 歳、肺結核 男性、93 歳、肺結核 女性、28 歳、肺結核及び気管支結核 男性、83 歳、無症状病原体保有者 女性、77 歳、無症状病原体保有者
2026 年 第 46 週	３類	腸管出血性大腸菌感染症	1	男性、28 歳、感染地域：名古屋市、血清群・毒素型：不明・ベロ毒素 VT1VT2
2026 年 第 46 週	４類	デング熱	1	男性、46 歳、デング熱、感染地域：ベトナム
2026 年 第 46 週	４類	レジオネラ症	1	男性、51 歳、肺炎型、感染地域：愛知県
2026 年 第 46 週	５類	ウイルス性肝炎	1	男性、44 歳、B 型、感染経路：性的接触、感染地域：名古屋市
2026 年 第 46 週	５類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	男性、82 歳

2026 年 第 46 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	女性、42 歳、菌検出検体：血液 男性、73 歳、菌検出検体：血液 女性、86 歳、菌検出検体：血液
2026 年 第 46 週	5 類	多剤耐性緑膿菌感染症	1	男性、79 歳、菌検出検体：膿
2026 年 第 46 週	5 類	梅毒	12	女性、21 歳、早期顕症梅毒１期 男性、38 歳、早期顕症梅毒１期 男性、48 歳、早期顕症梅毒１期 女性、21 歳、早期顕症梅毒２期 男性、22 歳、早期顕症梅毒２期 男性、39 歳、早期顕症梅毒２期 女性、53 歳、早期顕症梅毒２期 男性、47 歳、無症状病原体保有者 女性、20 歳、無症状病原体保有者 女性、24 歳、無症状病原体保有者 男性、36 歳、無症状病原体保有者 女性、88 歳、無症状病原体保有者
2026 年 第 46 週	5 類	百日咳	2	女性、31 歳、検査方法：核酸増幅法による病原体遺伝子の検出、感染地域：愛知県 男性、15 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市
2026 年 第 46 週	5 類	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	女性、51 歳、菌検出検体：その他

※　感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった１類から５類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2026 年 第 45 週	5 類	後天性免疫不全症候群（ＨＩＶ感染症を含む）	1	男性、31 歳、無症状病原体保有者、感染経路：同性間性的接触、感染地域：国内

2026 年 第 45 週	5 類	梅毒	2	男性、43 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、30 歳、早期顕症梅毒 1 期
2026 年 第 44 週	5 類	梅毒	1	男性、47 歳、早期顕症梅毒 1 期
2026 年 第 41 週	2 類	結核	1	女性、61 歳、頸部リンパ節結核
2026 年 第 40 週	2 類	結核	1	女性、60 歳、無症状病原体保有者
2026 年 第 36 週	5 類	梅毒	1	男性、23 歳、早期顕症梅毒 1 期

※　感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔2026 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾病名	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	431(149)
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	1(1)
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	78(15)
3 類感染症	腸チフス	2
3 類感染症	パラチフス	1
4 類感染症	E 型肝炎	2
4 類感染症	A 型肝炎	6
4 類感染症	デング熱	8
4 類感染症	日本紅斑熱	4

４類感染症	マラリア	3
４類感染症	レジオネラ症	53(1)
５類感染症	アメーバ赤痢	14
５類感染症	ウイルス性肝炎	3
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	18【1】
５類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	7
５類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	3
５類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	27
５類感染症	後天性免疫不全症候群（ＨＩＶ感染症を含む）	39(31)
５類感染症	ジアルジア症	2
５類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10
５類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	2
５類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	59
５類感染症	水痘（入院例に限る）	10
５類感染症	多剤耐性緑膿菌感染症	9
５類感染症	梅毒	508(121)
５類感染症	播種性クリプトコックス症	4
５類感染症	破傷風	3
５類感染症	百日咳	77
５類感染症	麻しん	5
５類感染症	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

累計は 2026 年第１週からの診断週による累計、（　）内は無症状病原体保有者累計患者数を再掲、【　】内は感染症死亡者の死体数を再掲。対象疾病が多いため、４類及び５類感染症は報告のあった疾病のみを掲載。（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。

調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ)

https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html をご覧ください。

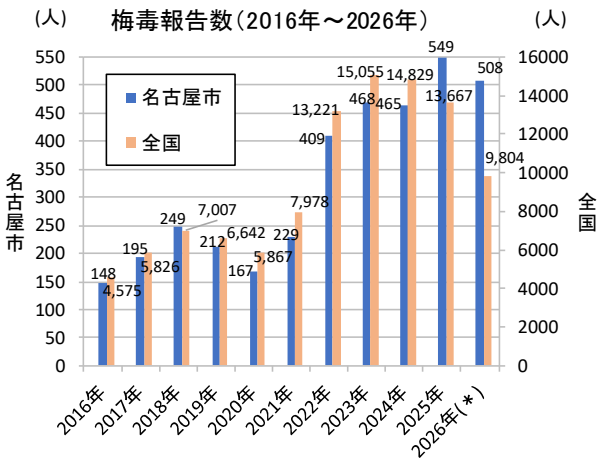
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

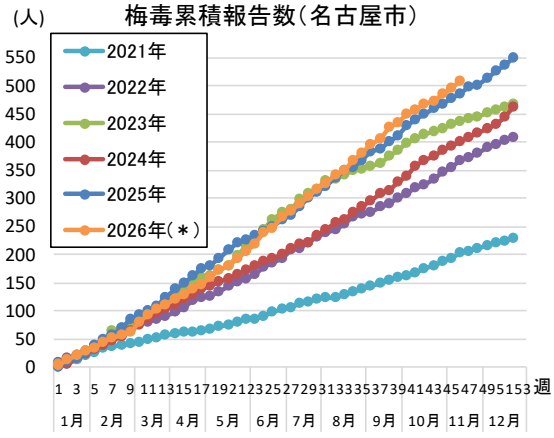
インフルエンザは全て A 型	定点医療機関（千種区）
インフルエンザは全て A 型	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型：12 名 インフルエンザ B 型：0 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型：14 名 インフルエンザ B 型：0 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザは全て A 型	定点医療機関（昭和区）
急性呼吸器感染症 （男性：124 名、女性：130 名）計 254 名	定点医療機関（南区）
インフルエンザは全て A 型	定点医療機関（南区）
インフルエンザ A 型：6 名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザは横ばいで高齢者は少ない。	定点医療機関（名東区）
マイコプラズマ肺炎：2 名	定点医療機関（名東区）

〔名古屋市の梅毒報告数〕

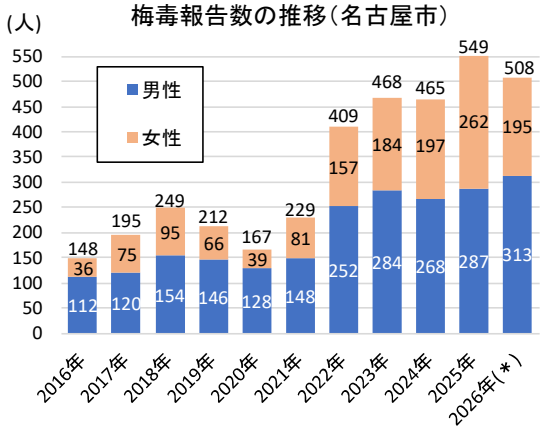
- 本市における梅毒の 2026 年第 1 週から第 46 週までの累積報告数は 508 人です。近年、梅毒の報告数が全国的に増加しており、本市における 2025 年の報告数は過去最多の 549 人でした。（「梅毒累積報告数（名古屋市）」を参照）
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



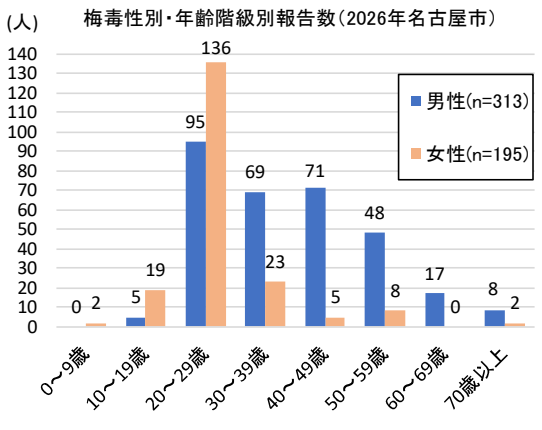
＊2026年は名古屋市は第46週、全国は第45週まで



＊2026年は第46週まで



＊2026年は第46週まで

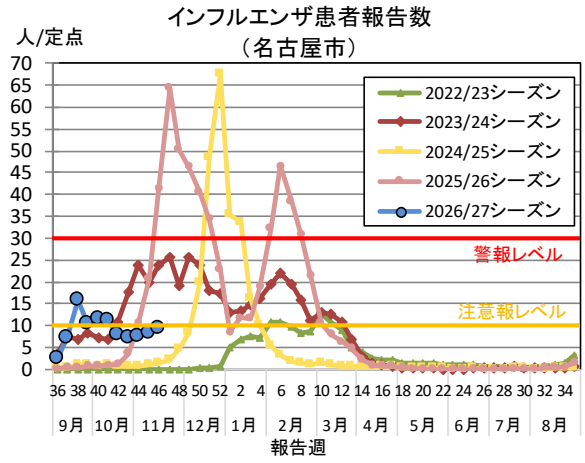


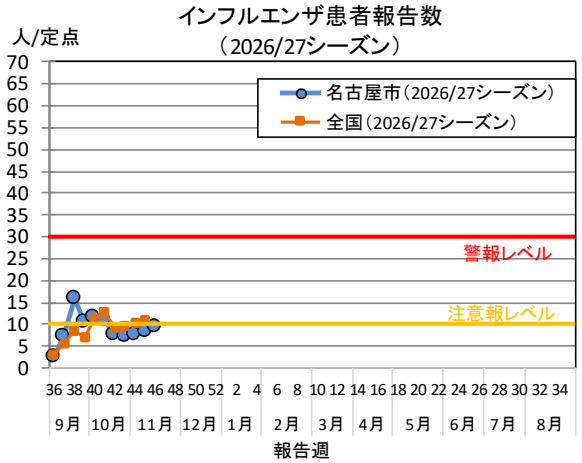
注）第46週まで

〔トピックス：インフルエンザ（2026/27 シーズン）〕

- 本市における 2026 年第 46 週（11 月 9 日～11 月 15 日）の市内 50 定点からのインフルエンザ患者報告数は、471 人と前週比 1.1 倍でした。定点当たり患者報告数は 9.42 です。
- 2026/2027 シーズンの集団かぜ（インフルエンザ様疾患）において、名古屋市衛生研究所で実施した PCR 検査の結果、インフルエンザウイルスのうち A/H1pdm09 ウイルス遺伝子が検出されました。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1 日から 3 日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。
- 高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。
- インフルエンザの治療には抗ウイルス薬が用いられます。
- インフルエンザの重症化予防にはワクチン接種が有効です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2026 年 11 月 18 日作成〕



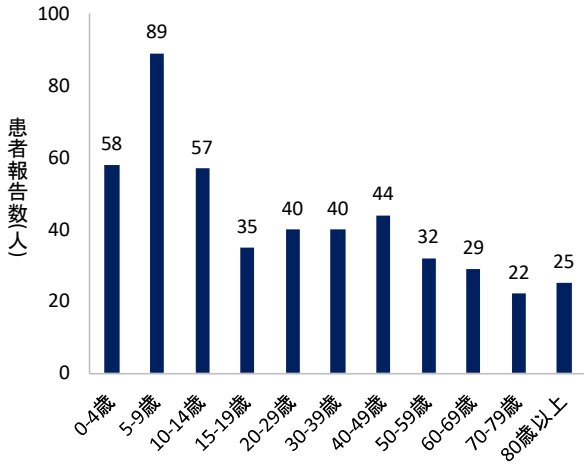


定点当たり患者報告数の推移

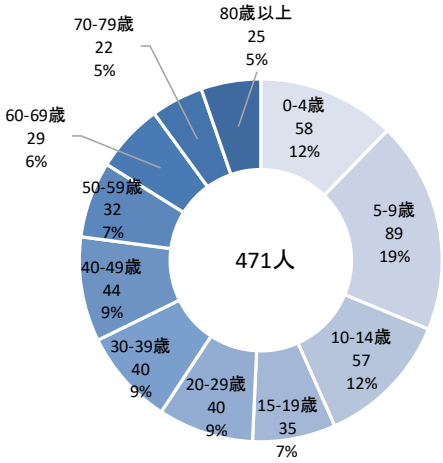
	第39週 (9/21～9/27)	第40週 (9/28～10/4)	第41週 (10/5～10/11)	第42週 (10/12～10/18)	第43週 (10/19～10/25)	第44週 (10/26～11/1)	第45週 (11/2～11/8)	第46週 (11/9～11/15)
名古屋市 (2026/27)	10.54 [527]	11.46 [573]	11.04 [552]	7.74 [387]	7.34 [367]	7.72 [386]	8.32 [416]	9.42 [471]
愛知県	12.33	11.88	11.47	7.83	8.66	10.63	11.12	–
全国	7.17	11.35	12.81	9.08	9.49	10.26	11.00	–
名古屋市 (昨シーズン)	0.70	0.72	0.98	1.10	3.68	10.54	20.86	41.22

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準
※患者報告数は各週公表時における速報値
※[ ]内は名古屋市内50定点からの患者報告数
※2025年4月7日（第15週）から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。
第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。

定点からのインフルエンザの
年齢階級別患者報告数（2026年第46週）



年齢階級別患者報告数（2026年第46週）の割合



〔インフルエンザ関連リンク〕

- インフルエンザ情報（名古屋市）

  https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/1034411/1015408.html

- インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）

  https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/influenza/index.html

- インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）

  https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/data/reported-number-of-influenza-virus-isolation-and-detections/index.html



NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆2026 年第 46 週　患者報告数（疾病区別）、定点当たり患者報告数（疾病区別）、年齢階級別患者報告数（疾病別）、患者報告数および定点当たり患者報告数の推移（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2026年第46週（2026年11月9日～11月15日）

	疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
☆	インフルエンザ	39	26	18	73	28	10	23	9	8	47	22	55	24	37	42	10	471	1.1	0.4
☆	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	2		1	2	7		1	1	1	7	1	9	2	2			36	1.1	0.3
○	RSウイルス感染症		1	3	5	6			2		5		4		2	3	3	34	1.2	4.0
○	咽頭結膜熱	1	5		2						3			1				12	1.5	0.4
○	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	4	3		1			2	7			2	8	2	30	1.3	0.7
○	感染性胃腸炎	3		2	10	6	7	5			10	5	5	17	25	3	1	99	1.3	1.3
○	水痘	2									1	1						4	0.4	1.2
○	手足口病	1		1	2									2				6	0.7	0.7
○	伝染性紅斑																	0		
○	突発性発しん										2			1	1			4	0.6	1.2
○	ヘルパンギーナ				7						1			1	1			10	1.1	5.6
○	流行性耳下腺炎																	0		
△	急性出血性結膜炎																	0		
△	流行性角結膜炎															1		1	0.3	0.0
◇	細菌性髄膜炎																	0		
◇	無菌性髄膜炎							1										1	1.0	0.1
◇	マイコプラズマ肺炎			1				7			12							20	3.3	0.1
◇	クラミジア肺炎																	0		
◇	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		
☆	急性呼吸器感染症（ARI）	195	316	305	772	118	51	44	17	54	353	91	370	274	253	307	106	3626	1.1	
	計	243	348	332	877	168	68	82	29	63	443	127	443	322	323	364	122	4354		

※過去3年の同週の定点当たり患者報告数平均値との比

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は過去2年の同週との比

☆	急性呼吸器感染症定点数	4	2	4	4	3	2	2	2	2	4	3	3	4	4	3	4	50
○	小児科定点数	3	1	2	2	2	1	1	1	1	3	2	2	2	4	2	2	31
△	眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11
◇	基幹定点数			1				1			1							3

☆○△◇は定点種別を示す。　　のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

※2025年4月7日（第15週）から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。

定点当たり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2026年第46週（2026年11月9日～11月15日）

	疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
	インフルエンザ	9.75	13.00	4.50	18.25	9.33	5.00	11.50	4.50	4.00	11.75	7.33	18.33	6.00	9.25	14.00	2.50	9.42
*	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）																	0.72
	RSウイルス感染症		1.00	1.50	2.50	3.00			2.00		1.67		2.00		0.50	1.50	1.50	1.10
	咽頭結膜熱	0.33	5.00		1.00						1.00			0.50				0.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.50	2.00	1.50		1.00			0.67	3.50			0.50	4.00	1.00	0.97
	感染性胃腸炎	1.00		1.00	5.00	3.00	7.00	5.00			3.33	2.50	2.50	8.50	6.25	1.50	0.50	3.19
	水痘	0.67									0.33	0.50						0.13
	手足口病	0.33		0.50	1.00									1.00				0.19
	伝染性紅斑																	
	突発性発しん										0.67			0.50	0.25			0.13
	ヘルパンギーナ				3.50						0.33			0.50	0.25			0.32
	流行性耳下腺炎																	
	急性出血性結膜炎																	
	流行性角結膜炎															1.00		0.09
	急性呼吸器感染症（ARI）	48.75	158.00	76.25	193.00	39.33	25.50	22.00	8.50	27.00	88.25	30.33	123.33	68.50	63.25	102.33	26.50	72.52

	流行発生警報		流行発生注意報
警報対象疾病	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	−	−	−
RSウイルス感染症	−	−	−
咽頭結膜熱	3	1	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	−
感染性胃腸炎	20	12	−
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	−
伝染性紅斑	2	1	−
突発性発しん	−	−	−
ヘルパンギーナ	6	2	−
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	−
流行性角結膜炎	8	4	−
急性呼吸器感染症（ARI）	−	−	−

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ *斜体の数字* は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

＊新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の区別定点当たり患者報告数は計上しておりません。

年齢階級別患者報告数（名古屋市）

2026年第46週（2026年11月9日～11月15日）

疾病名/年齢階級	0～5ヵ月	6～11ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	1	2	21	12	11	11	13	15	28	16	17	57	35	40	40	44	32	29	22	25	471
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	1	1	2		1	1	1			2					2	4	5	3	6	7	36

疾病名/年齢階級	0～5ヵ月	6～11ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳以上	計
RSウイルス感染症	4	6	12	6	5			1							34
咽頭結膜熱		1	3	2			1	1	1	1		2			12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1	5	3	2	1	1	1	2	5		9	30
感染性胃腸炎	1	4	15	9	11	5	8	3	5	3	1	9	4	21	99
水痘							2					2			4
手足口病			1	3		1		1							6
伝染性紅斑															0
突発性発しん			3		1										4
ヘルパンギーナ			1	3	3		1	1				1			10
流行性耳下腺炎															0

疾病名/年齢階級	0～5ヵ月	6～11ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	計
急性出血性結膜炎																				0
流行性角結膜炎															1					1

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上	計
細菌性髄膜炎																	0
無菌性髄膜炎							1										1
マイコプラズマ肺炎	1	6	6	4		1			1				1				20
クラミジア肺炎																	0
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
急性呼吸器感染症（ARI）	187	1035	624	368	191	201	217	202	199	143	141	118	3626

患者報告数および定点当たり患者報告数の推移（名古屋市）

疾病名/調査週		第37週 (9/7～9/13)	第38週 (9/14～9/20)	第39週 (9/21～9/27)	第40週 (9/28～10/4)	第41週 (10/5～10/11)	第42週 (10/12～10/18)	第43週 (10/19～10/25)	第44週 (10/26～11/1)	第45週 (11/2～11/8)	第46週 (11/9～11/15)
インフルエンザ	患者報告数	365	801	527	573	552	387	367	386	416	471
	定点当たり患者報告数	7.30	16.02	10.54	11.46	11.04	7.74	7.34	7.72	8.32	9.42
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	患者報告数	116	126	86	72	57	45	32	30	32	36
	定点当たり患者報告数	2.32	2.52	1.72	1.44	1.14	0.90	0.64	0.60	0.64	0.72
RSウイルス感染症	患者報告数	5	27	15	24	55	24	30	33	28	34
	定点当たり患者報告数	0.16	0.87	0.48	0.77	1.77	0.77	0.97	1.06	0.90	1.10
咽頭結膜熱	患者報告数	4	4	4	7	5	5	13	5	8	12
	定点当たり患者報告数	0.13	0.13	0.13	0.23	0.16	0.16	0.42	0.16	0.26	0.39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	患者報告数	22	16	12	21	20	24	17	19	24	30
	定点当たり患者報告数	0.71	0.52	0.39	0.68	0.65	0.77	0.55	0.61	0.77	0.97
感染性胃腸炎	患者報告数	64	79	53	71	78	58	66	95	75	99
	定点当たり患者報告数	2.06	2.55	1.71	2.29	2.52	1.87	2.13	3.06	2.42	3.19
水痘	患者報告数	4	1	10	7	3	3	6	6	10	4
	定点当たり患者報告数	0.13	0.03	0.32	0.23	0.10	0.10	0.19	0.19	0.32	0.13
手足口病	患者報告数	56	32	27	32	21	9	15	14	9	6
	定点当たり患者報告数	1.81	1.03	0.87	1.03	0.68	0.29	0.48	0.45	0.29	0.19
伝染性紅斑	患者報告数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0.03	0
突発性発しん	患者報告数	8	6	1	7	8	5	9	7	7	4
	定点当たり患者報告数	0.26	0.19	0.03	0.23	0.26	0.16	0.29	0.23	0.23	0.13
ヘルパンギーナ	患者報告数	41	45	8	27	43	18	16	11	9	10
	定点当たり患者報告数	1.32	1.45	0.26	0.87	1.39	0.58	0.52	0.35	0.29	0.32
流行性耳下腺炎	患者報告数	0	1	0	3	0	2	0	6	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0.03	0	0.10	0	0.06	0	0.19	0	0
急性出血性結膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	患者報告数	6	2	2	1	1	2	0	5	3	1
	定点当たり患者報告数	0.55	0.18	0.18	0.09	0.09	0.18	0	0.45	0.27	0.09
細菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0.33	0.33	0	0
無菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0.33	0.33
マイコプラズマ肺炎	患者報告数	15	8	10	14	12	12	16	12	6	20
	定点当たり患者報告数	5.00	2.67	3.33	4.67	4.00	4.00	5.33	4.00	2.00	6.67
クラミジア肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性呼吸器感染症（ARI）	患者報告数	2647	3317	2142	3049	3319	2704	2909	2943	3159	3626
	定点当たり患者報告数	52.94	66.34	42.84	60.98	66.38	54.08	58.18	58.86	63.18	72.52

（患者報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

◆入院サーベイランス

基幹定点医療機関（市内３医療機関：北区、昭和区、中川区）より、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の発生状況が毎週報告されています。

年齢階級別入院患者報告数（2026年第46週（2026年11月9日～11月15日））

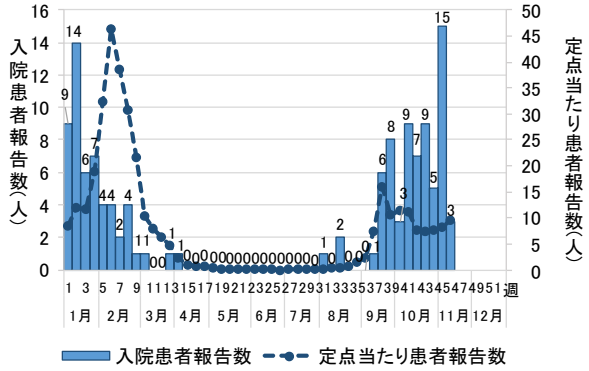
疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4

年齢階級別入院患者報告数（2026年累積）

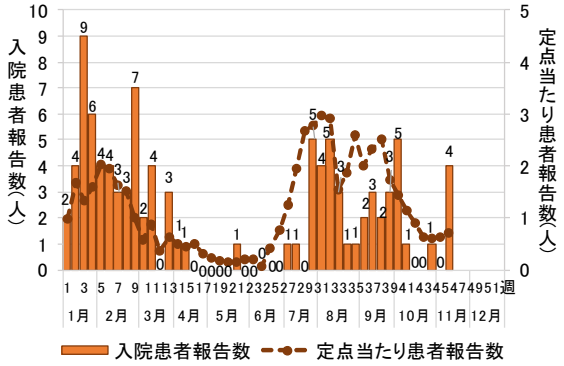
疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	4	21	8	5	2	5	3	0	3	9	20	43	123
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	7	3	3	2	0	0	2	0	1	7	37	34	96

入院患者報告数および定点当たり患者報告数の推移（2026年）

インフルエンザ

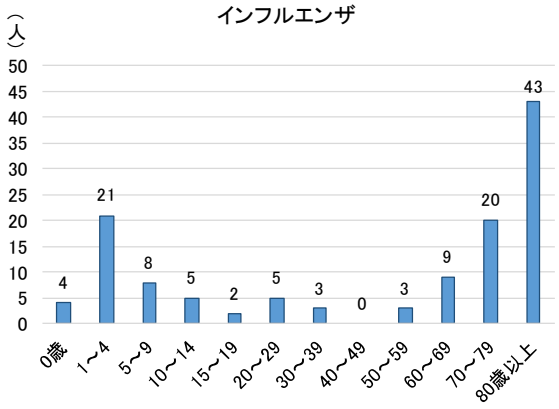


新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

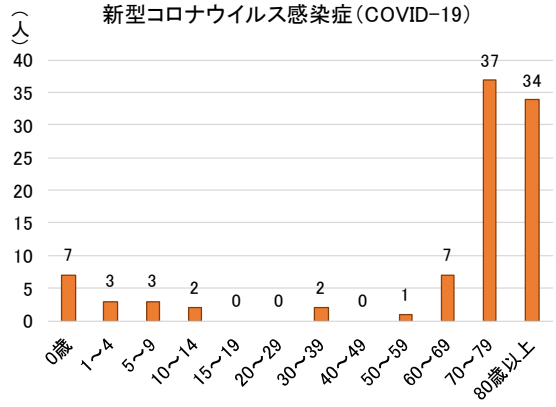


年齢階級別入院患者報告数（2026年累積）

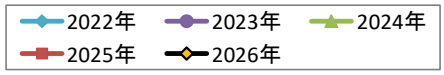
インフルエンザ

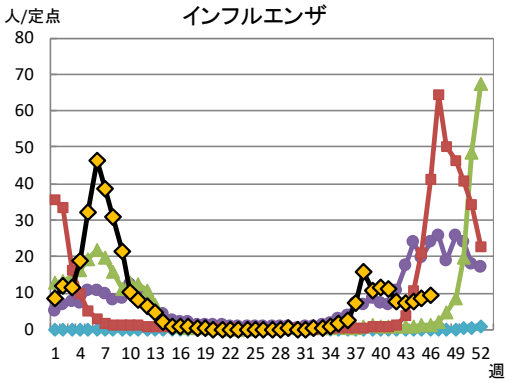


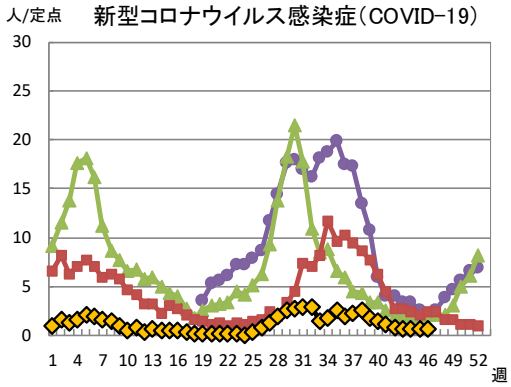
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

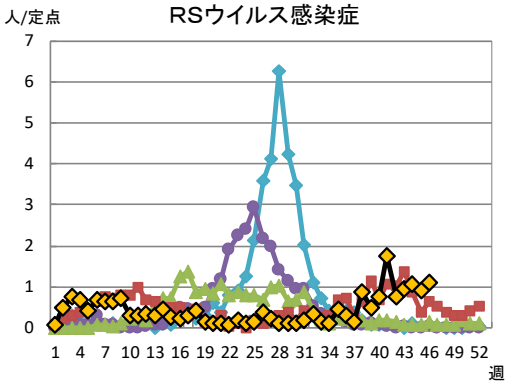


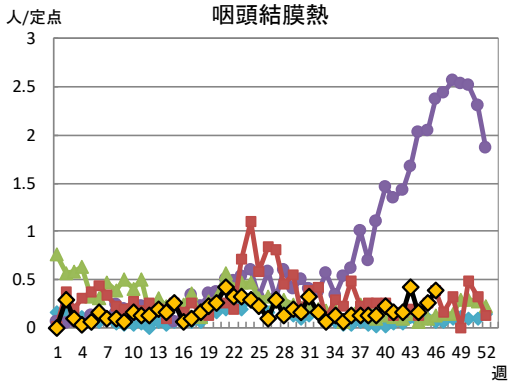
◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(1)　2026年第46週まで

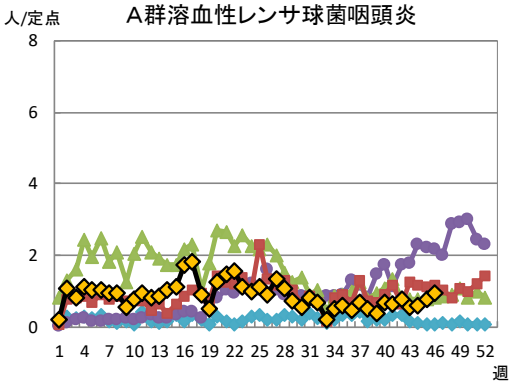


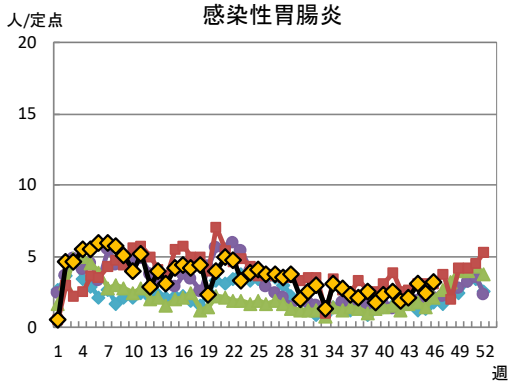


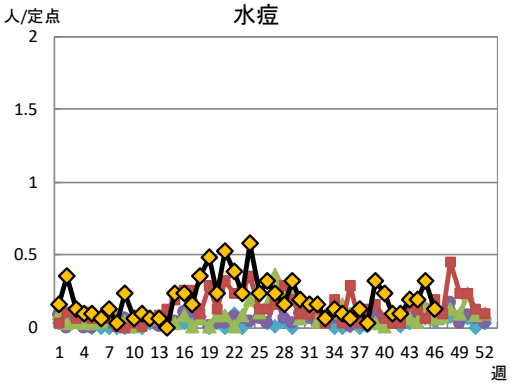


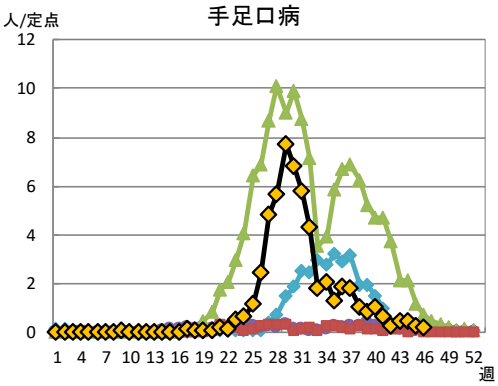




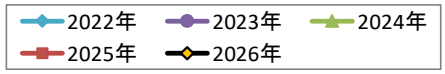


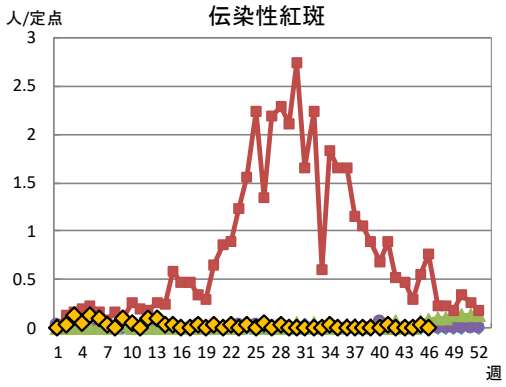


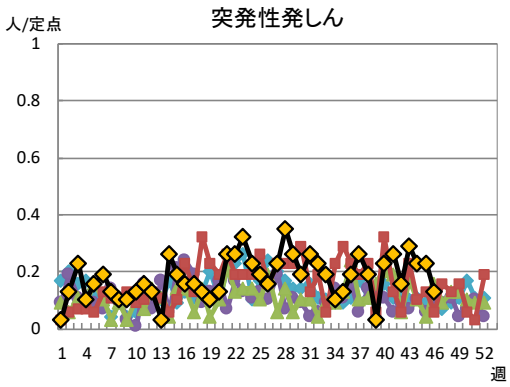


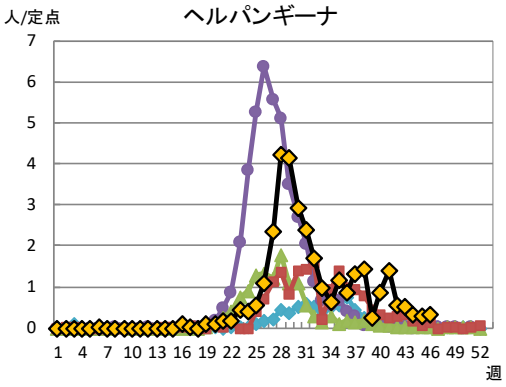


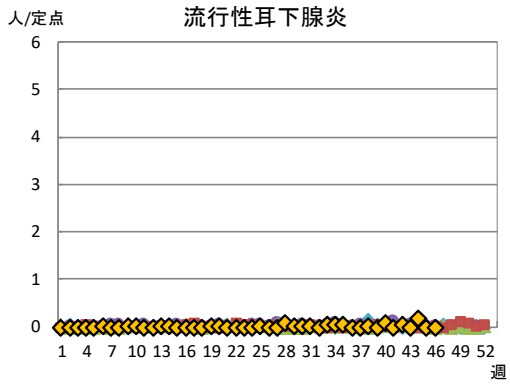
◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(2)　2026年第46週まで

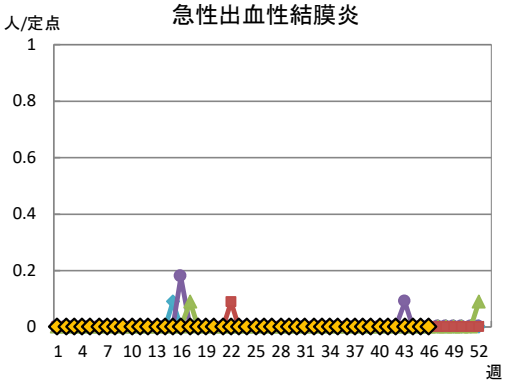


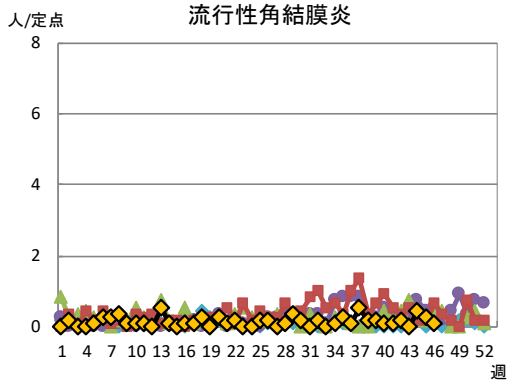


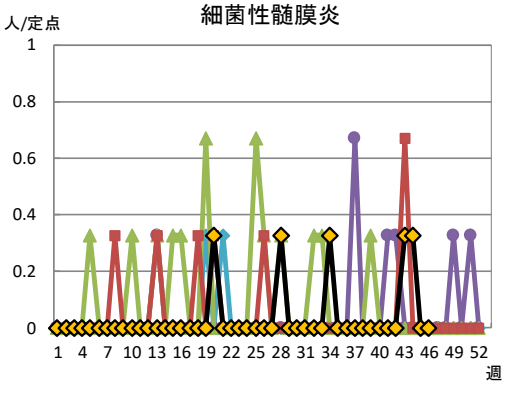


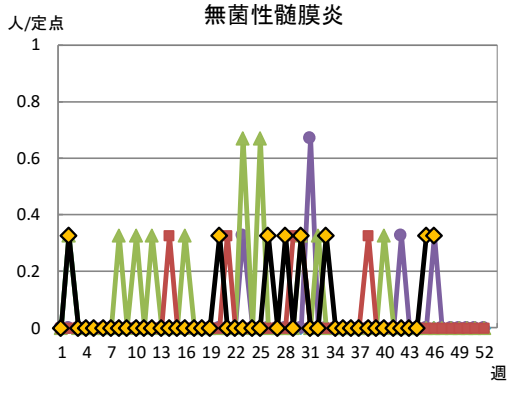




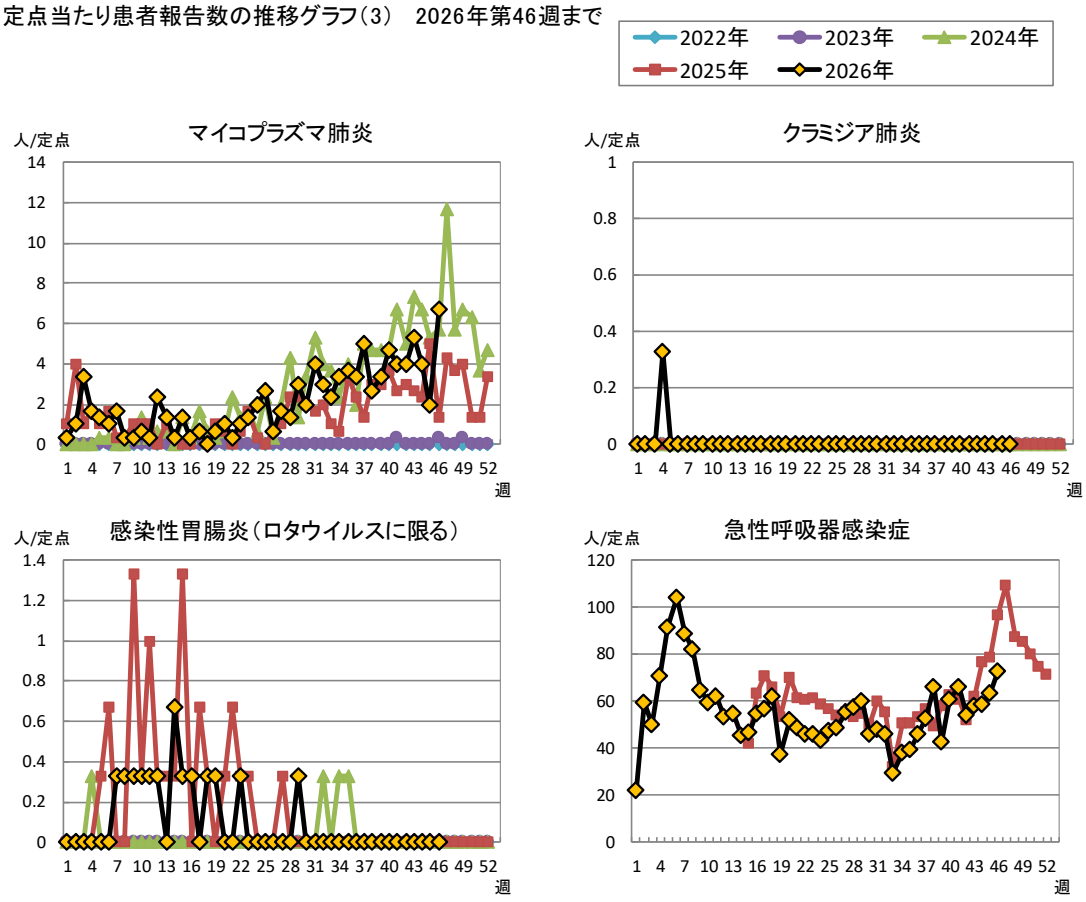








◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(3)　2026年第46週まで



※2025年4月7日(第15週)から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。

◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2026 年 10 月分〕

基幹定点数：3（北区、昭和区、中川区）

基幹定点報告、区別患者報告数（名古屋市） 2026年10月

疾病名/区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	2	7	11
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0
計	2	2	7	11

※「薬剤耐性緑膿菌感染症」は2026年4月6日より5類全数報告に移行し、疾病名は「多剤耐性緑膿菌感染症」へ変更となりました。

基幹定点報告、年齢階級別患者報告数（名古屋市） 2026年10月

疾病名/年齢階級	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳以上	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症						2		4	4	1	11
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											0
計	0	0	0	0	0	2	0	4	4	1	11

※「薬剤耐性緑膿菌感染症」は2026年4月6日より5類全数報告に移行し、疾病名は「多剤耐性緑膿菌感染症」へ変更となりました。

◆ 性感染症（STD）について〔性感染症定点把握、2026 年 10 月分〕

性感染症定点数：15 （泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

患者報告数を性別でみると男性は性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマの順に多く、女性は性器ヘルペスウイルス感染症、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ及び淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性 180 人、女性は 52 人でした。（表 2、図 1 参照）

2026 年 10 月分を年齢階級別に見ると、男性では性器クラミジア感染症で 20 歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症では 15 歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。また、尖圭コンジローマでは 20 歳から 34 歳および 40 歳から 54 歳の年齢階級で報告がありました。

女性では性器クラミジア感染症で 15 歳から 44 歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症では 20 歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。また、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では 25 歳から 29 歳の年齢階級で報告がありました。（表 2、図 2 参照）

表1. 性感染症区別患者報告数（名古屋市） 2026年10月

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	1		14		5	41	12			12				10	1	7	103
性器ヘルペスウイルス感染症			7	3		45				1			3		5	3	67
尖圭コンジローマ			4		2	8	5			4						1	24
淋菌感染症	1		7		1	8	8			9				2		2	38
計	2		32	3	8	102	25			26			3	12	6	13	232
STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1		1	1	1	1	1	15

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数（名古屋市） 2026年10月

疾病名/年齢階級	性別	0～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55歳以上	計
性器クラミジア感染症	男性			23	15	10	9	12	6	4	1	80
	女性		4	10	5	2	1	1				23
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		2	3	6	7	1	3	3	3	12	40
	女性			5	2	1	1	5	6	3	4	27
尖圭コンジローマ	男性			8	6	4		3	1	1		23
	女性				1							1
淋菌感染症	男性		1	10	5	5	1	5	4	2	4	37
	女性				1							1
計	男性		3	44	32	26	11	23	14	10	17	180
	女性		4	15	9	3	2	6	6	3	4	52

図1. STD各感染症が総患者報告数に占める割合（2026年10月）

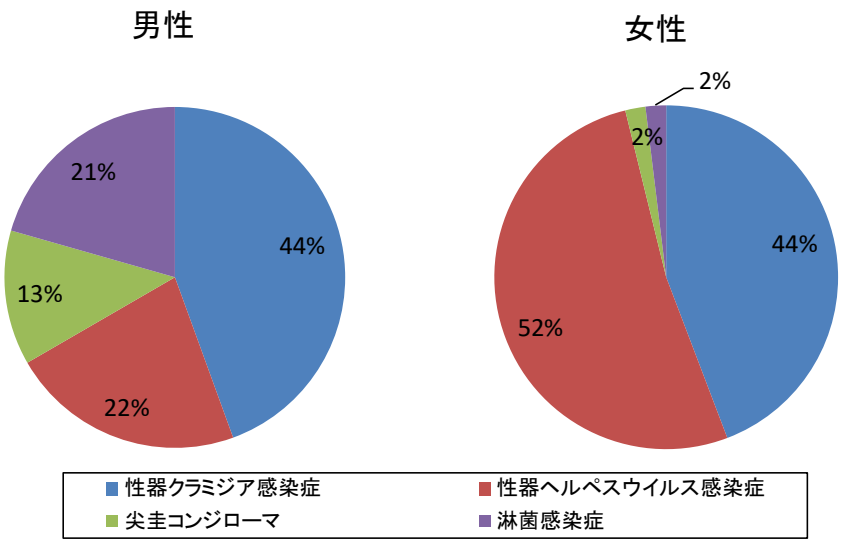


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり患者報告数（2026年10月）

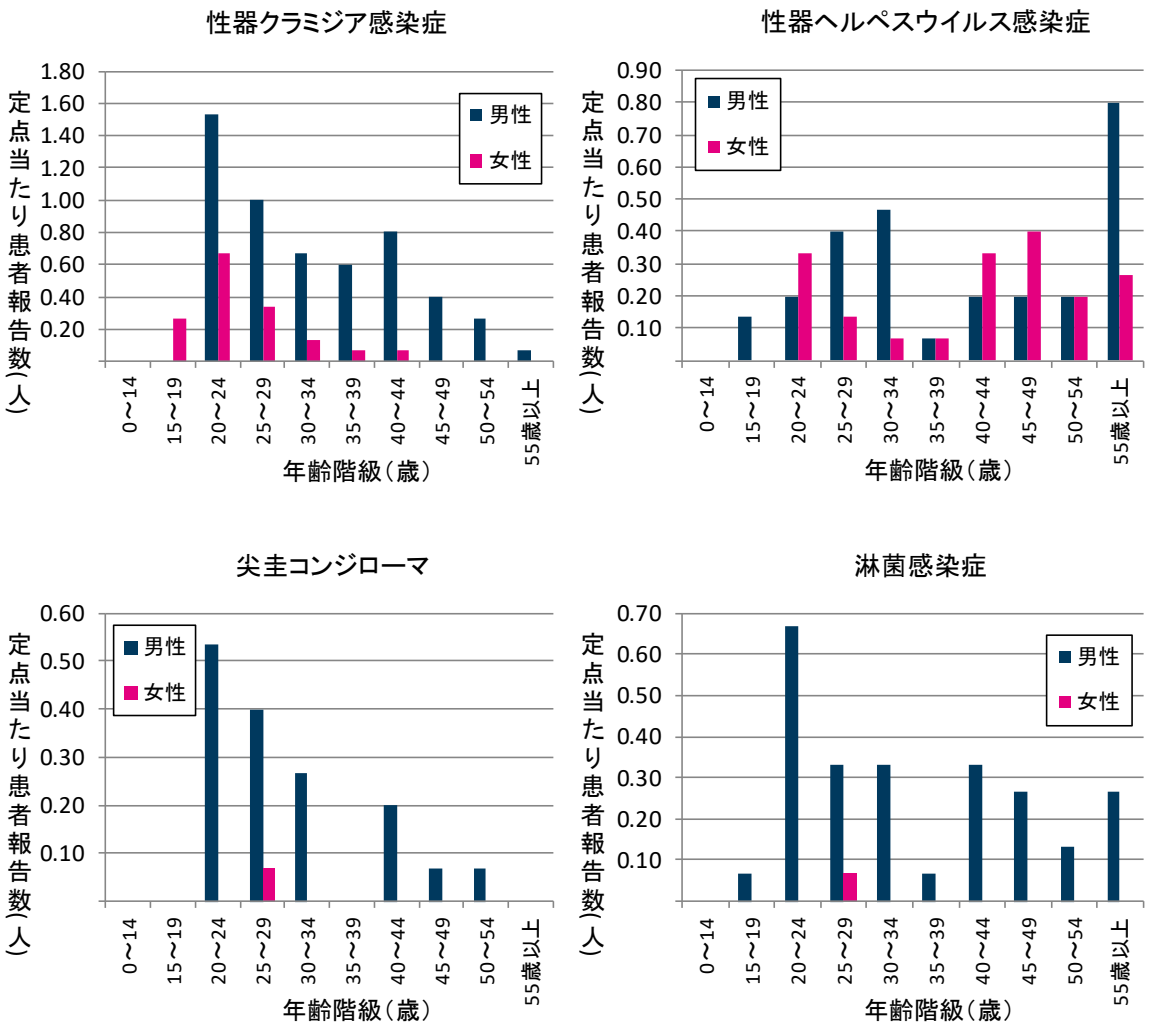


図3. 各STDの定点当たり患者報告数の推移

